

持続可能な社会を支える
都市・インフラ学
都市・地域の空間分析
関連の話題

2025/12/05

土木・環境工学系 特任准教授
中西 航

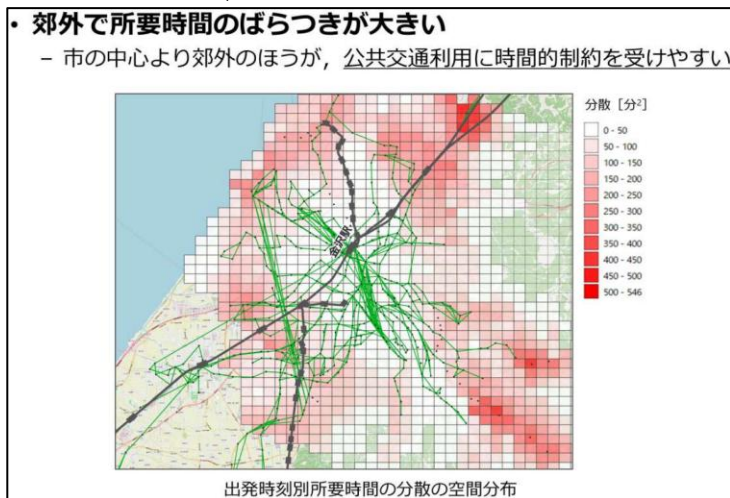
nakanishi.w.aa [at] m.titech.ac.jp

都市・地域をどのように記述すればよいか?

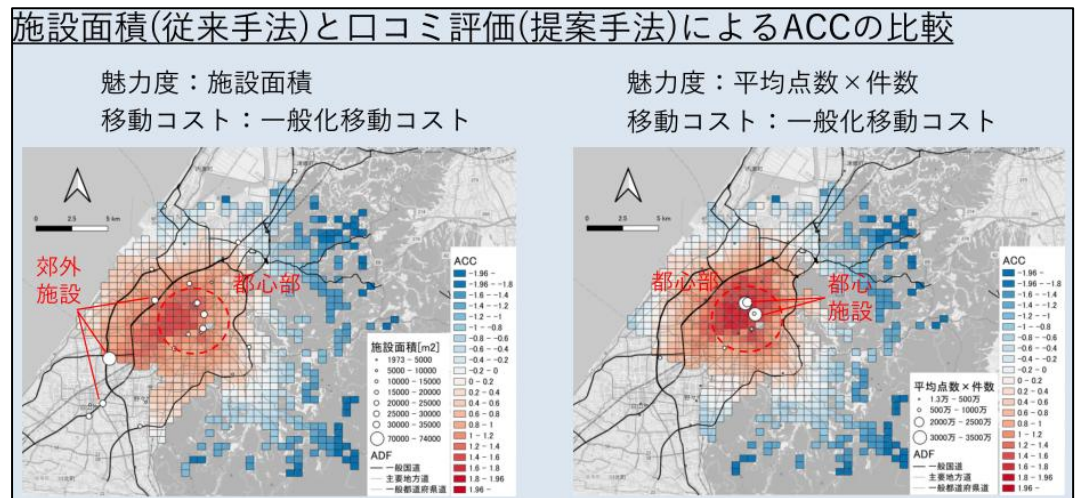
- ここでは、(あえて)やや抽象的な話をします
 - 具体的な話は、次の議題/コーヒータイム等に
- 住みやすさ・暮らしやすさをどのように計測すればよいか?
 - コンパクトシティだと/公共交通利便性が高いと、何がどのように良いのか?
 - そもそもこれらをどのようにし評価すればよいか?
- 人々や施設・店舗の多様性をどのように計測すればよいか?
 - どんな人どうしの交流が望まれているのか?
 - ショッピングモールは多様ではないのか?

1: アクセシビリティ (ACC) の計測

- (日本での) 現状のACCの考え方 = 生活が**維持**できるか
 - 生活必需施設に, 一定の時間内に到達できるか
- 余暇施設も含めた**様々**な活動を, **自由**に(=いつでも), かつ, **容易**に(近くで)実施可能か
 - そういう都市・地域にしか人は残らないのではないか?
- では, それはどのように評価すればよいか?



公共交通利用・
出発時刻によるばらつき



ショッピングモールへのACC
店舗数ではなく口コミ評価点を使用

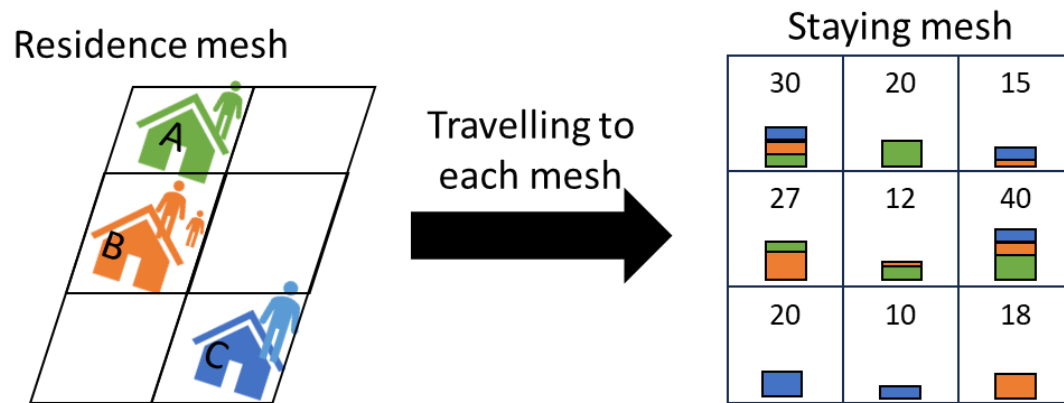
2: 多様性の計測

■ 目下の都市計画の至上命題:

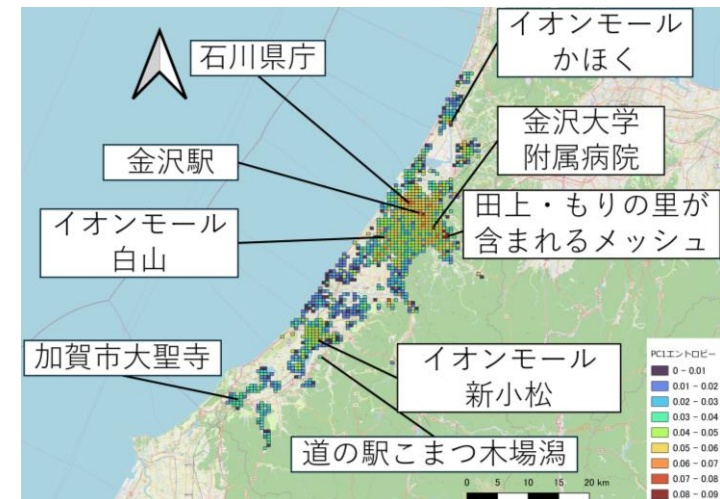
多様な人々の交流による賑わいやイノベーションの創出

- この重要性は広く認識されているが、**何を、どこで、どのくらい、どのように**、ということはほとんど不明
- 良い空間づくりは進むが、その貢献はよくわからない

■ そもそも、都市内のどこに・どんな人がいるかを分析



500mメッシュ居住地ごとの、
500mメッシュごと滞在人数



その混ざり度合いを評価

- 人が集まる施設/イベント等があるとして，
 - いつ/どんな人が/どこに/どのくらい来て，何をしたか？
 - 詳細な人口データ，店舗等のデータ， ...
 - 実際の来店/来街者の人数，属性，売上， ...
- そもそも，どこに/どんな施設/イベント等があると良いか？
- 理想的には分析の目的に応じたデータがあればよいが，現実的には入手可能なデータに応じた目的設定になりがち
- せっかく産学連携なので，この課題感をなくしたい
 - データ入手は，実際の支出だけでなく，個別交渉等の手間がかなり大きい
 - データはプライバシーだけでなく経営に直結しがち